

高性能 AE 減水剤【収縮低減タイプ】

ヤマソー V1-DS / V1-DSR

ヤマソー V1-DS および V1-DSR は、従来の高性能 AE 減水剤の特長である優れたセメント分散性能やスランプ保持性能に加えて、収縮低減性能を兼ね備え一液化した新しいタイプの高性能 AE 減水剤です。収縮低減性能を付加したことにより、コンクリートの乾燥収縮ひずみを低減することができ、ひび割れの少ない高品質で耐久性に優れたコンクリートの製造が可能です。

特長

- 従来の高性能 AE 減水剤を使用したコンクリートよりも、乾燥収縮ひずみを 5 ~ 15%程度低減することができます。
- コンクリートの粘性が低く、ポンプ圧送性や施工性を改善することができます。
- 弊社独自の空気量調整剤との組み合わせにより、経過時間に伴う空気量の変動をコントロールすることが可能です。
- ヤマソー V1-DS は JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」の高性能 AE 減水剤標準形 (I 種) に、ヤマソー V1-DSR は、高性能 AE 減水剤遅延形 (I 種) に適合します。

主成分、物性および使用方法

製品名	区分	主成分	密度範囲 (g/cm ³) [20°C]	使用量 ^{※1} C×%	塩化物イオン量 ^{※2} (%)	全アルカリ量 ^{※2} (%)
ヤマソー V1-DS	標準形 I 種	ポリカルボン酸系化合物とグリコールエーテル系誘導体	1.04 ~ 1.12	1.5 [1.0~3.0]	0.01 【 0.00kg/m ³ 】	0.8 【 0.04kg/m ³ 】
ヤマソー V1-DSR	遅延形 I 種		1.05 ~ 1.13		0.01 【 0.00kg/m ³ 】	1.2 【 0.06kg/m ³ 】

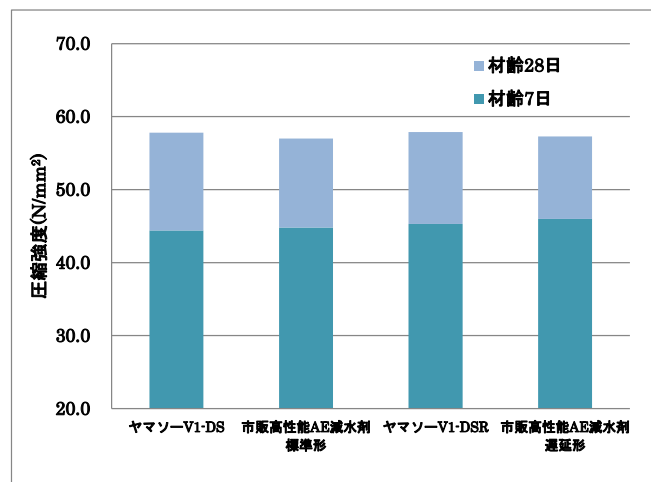
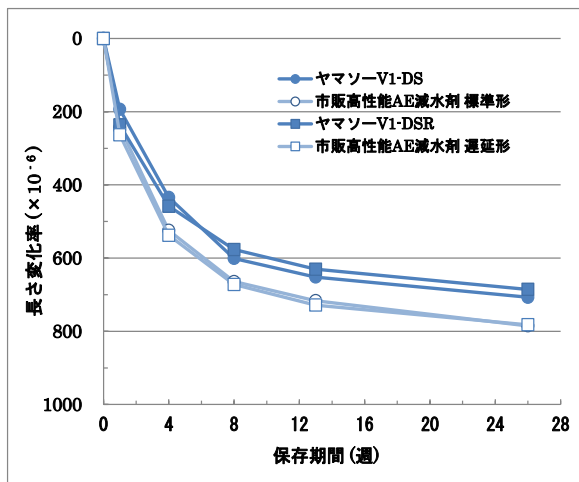
※1 ヤマソー V1-DS および V1-DSR の標準使用量はセメント質量に対して 1.5% です。【 】内は使用量の範囲となります。

ヤマソー V1-DS および V1-DSR は単位水量の一部となりますので、使用量に応じて練混ぜ水を補正して下さい。

※2 塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値例であり、【 】内は C=350kg/m³ の場合のコンクリート 1m³ に導入される量です。

試験結果例

W/C=45.0%, W=170kg/m³, 室内試験：温度20°C セメント：普通ポルトランドセメント 密度3.16g/cm³
 細骨材：山砂 密度2.63g/cm³ 砕砂 密度2.62g/cm³ 混合比50:50 粗骨材：硬質砂岩碎石2005 密度2.66g/cm³
 化学混和剤：ヤマソー V1-DS/V1-DSR 【C×1.5%】、市販高性能 AE 減水剤 標準形/遅延形 【C×1.0%】



JIS A 6204 形式評価試験結果例

試験項目	ヤマソーV1-DS		ヤマソーV1-DSR	
	高性能AE減水剤 標準形 規定値	試験値	高性能AE減水剤 遅延形 規定値	試験値
減水率 (%)	18以上	19	18以上	19
ブリーディング量の比 (%)	60以下	26	70以下	32
凝結時間の差 (min)	始発	-60~+90	+60	+60~+210
	終結	-60~+90	+65	0~+210
経時変化量	スランプ (cm)	6.0以下	2.5	6.0以下
	空気量 (%)	±1.5以内	-0.7	±1.5以内
圧縮強度比 (%)	材齢7日	125以上	139	125以上
	材齢28日	115以上	129	115以上
長さ変化比 (%)	110以下	95	110以下	89
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	97	60以上	97

注) 一般財団法人 建材試験センターによる形式評価試験結果 (ヤマソーV1-DS および V1-DSR の使用量 C×1.5%)

使用上および取扱い上の注意

1. コンクリート性状は、材料、配(調)合、温度などの条件によって変わる場合がありますので、あらかじめ使用量の範囲で試し練りを実施し、性状を確認してからご使用下さい。
2. ヤマソーV1-DS および V1-DSR を使用したコンクリートを練り混ぜた後、次のバッチにヤマソーV1-DS および V1-DSR 以外の混和剤を使用したコンクリートを練り混ぜると、空気量が増加する場合がありますので事前に確認を行って下さい。
3. 異物や雨水、他の混和剤などが混入しないように、保管・使用して下さい。
4. 皮膚についた場合は、水と石鹼でよく洗い落として下さい。
5. 眼に入った場合は、直ちに清浄な水で十分に洗浄した後、眼科医の手当てを受けて下さい。
6. 万一誤飲した場合には、水で口腔内を洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
詳細は、安全データシート(SDS)の内容を参照して下さい。

荷 姿

バルク

- ここに記載された事項は、細心の注意を払って行った弊社の実験データに基づくものですが、実際の現場における結果をすべて確実に保証するものではありません。したがって、需要家各位にて十分ご検討のうえ、ご使用下さいますようお願い致します。



本 社	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目25番5号	☎03(3552)1341
東 京 営 業 部	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目25番5号	☎03(3552)1261
大 阪 支 店	〒530-0041	大阪市北区天神橋3丁目3番3号	☎06(6353)6051
福 岡 支 店	〒812-0008	福岡市博多区東光2丁目6番6号	☎092(483)8567
札 幌 支 店	〒006-0001	札幌市手稲区西宮の沢1条2丁目3番45号	☎011(662)5552
広 島 営 業 所	〒733-0005	広島市西区三滝町14番4号	☎082(237)3083
仙 台 営 業 所	〒980-0004	仙台市青葉区宮町3丁目9番27号	☎022(224)0321
北 陸 営 業 所	〒910-0001	福井市大願寺2丁目9番1号 福井開発ビル403	☎0776(28)2566
平 塚 事 務 所	〒254-0016	平塚市東八幡3丁目6番22号	☎0463(23)5536
静 岡 出 張 所	〒422-8032	静岡市駿河区有東2丁目5番21号 テレピア静岡101	☎054(202)5111
高 松 出 張 所	〒760-0075	高松市楠上町1丁目5番15号 リビエール楠上103	☎087(863)7565